北毛保健生協組合員現勢

2019年１月末現在

組合員 …… 17,760人
出資金 …… ６億9,932万円
１人平均出資金 …… 39,376円

組合員自身の力で組織を大きく強くしましょう！

くらしと医療

発行所
北毛保健生活協同組合
〒377-0005　渋川市有馬２３７－１
TEL 0279-24-2141　FAX 0279-24-8873
発行責任者　中澤眞理
編集責任者　くらしと医療編集委員会
印刷所　上武印刷株式会社

理念をかたちに 地域のためにできること

無料低額診療事業とは、生活困難な方が経済的な理由により、必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう無料または低額な料金で診療をおこなう事業で、社会福祉法の第二種事業として位置づけられています。北毛保健生活協同組合では２０１２年12月より、無料低額診療事業を行っています。

2012年12月から続けている炊きだしと無料相談会

今日の日本において経済的困窮者は15・６％、約６人に１人が貧困といわれ、お金が無いために必要な医療や介護が受けられない、生活そのものが成り立たず自殺に至る、等の事例も生まれています。

国民年金を満額納めた人でも、月６５０００円の年金支給額であり、生活をしていくだけで精一杯の状況です。さらに病気になり医療費が増えると生活は破綻します。

所得のみで考えた場合、約８割以上の人が生活保護基準以下の収入で生活されていると言われています。

また、こどもの貧困率も13・９％となっており、多くの世帯で貧困と格差が起きている状況です。

医療現場では、群馬県の小中学生は福祉医療の対象となっており、窓口負担が無いため、医療へのアクセスはしやすいですが、保護者が受診する際には負担が発生します。

夜間の小児科診察を見ていると、保護者でも受診が必要な状態であっても、金銭的な理由で受診を控えるという方を時々見かけます。

これまで無料低額診療事業で約80名の生活の立て直し支援をしてきました。

また、２０１８年度から北毛介護支援センターにて、月に１回医療・介護・生活に関する無料相談会（炊き出し）を実施しております。さらに今年度は渋川、北群馬郡の学校長会と渋川、北群馬地区学校保健会の研修会で事業の紹介をさせて頂きました。

多くの方に無料低額診療事業を知っていただく事が重要です。

憲法25条では「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」と謳われています。

北毛保健生協の理念「一人は万人のために、万人は一人のために」の観点からも、地域の少しでも困っている人を救うために、今後もこの事業を生協だけではなく、自治体や他団体などとも協力しながら広げていきたいと思います。

無料低額診療事業概要

実施事業所：北毛病院、北毛診療所
対象者：無保険者、住所喪失不安定就労者（ホームレス）、人身取引被害者、DV被害者、外国人労働者など社会的援護を必要とする方など
世帯の収入が国で定める生活保護基準の140％以下の方
（貯蓄等により判断させて頂きます。）
減免範囲：無料診療、自己負担分全額免除、自己負担分半額免除
減免期間：１カ月～６カ月
（※減免範囲、期間は対象者の状況によって変わります）

無料診療

無料　保険医療機関の収入
保険者負担　７割　｜　被保険者負担　３割

- **対象者**　DV・人身取引被害者、ホームレスなど、健康保険が利用できない方
- **減免範囲**　診療費全額が無料となる
- **減免期間**　原則１ヶ月

窓口負担金額免除

保険医療機関の収入　無料
保険者負担　７割　｜　被保険者負担　３割

- **対象者**　１ヶ月の世帯収入が生活保護基準の110％未満
- **減免範囲**　窓口自己負担全額免除（自己負担なし）
- **減免期間**　原則６ヶ月

血圧すい

月日の過ぎるのは早いもので、もう３月。春が待ち遠しいこの頃です。

２０１９年元旦、初日の出を求めて、渋川総合公園に出かけました。凍りつく様な大気の中、大勢の人達と、今か今かと待つうち、ほの暗い赤城山の裾野がオレンジ色に染まり始め、人々の歓喜の声と共に太陽が力強く昇って来た。陽の光に照らされる、公園の木々と、赤くそびえ立つ水沢山に、感動です。「今年も平和で良い年でありますように」祈念しました。

家に帰ると早速、祝膳の支度です。我家の雑煮は、主人の先祖の味を引き継いで、富山風です。昆布と鶏肉で取った出汁に、茹でた三角餅と三つ葉を添えるだけのシンプルなものです。

お重のおせちを囲みながら、話しは、平成から新しい年号に変る事、10月には消費税が10％に上がり、東京オリンピックに向けて、キャッシュレス化がすすめられる事等でした。「この先、時代の流れに『ぼーっと』していられないね」と一人つぶやく。

（T・S記）

大腸肛門外来　第２月曜日　夜間外来（予約制）が始まりました。おしり（肛門など）で何か気になることがあれば、ぜひお気軽にお問い合わせください。

小野上支部 設立30周年記念祝賀会

2月14日、新春のつどいと支部設立30周年記念祝賀会を開催しました。

配布者、新加入者、強化月間中の増資者、毎月の積立者を中心に30人が参加しました。長年、現在も「くらしと医療」を配布して下さっている方8名に支部から、功労賞としてささやかな記念の品を贈りました。

祝賀会では30年をまとめた「支部のあゆみ」を配布しました。1988年、支部が結成し、初代支部長に小野行さんが就任され、小野上村の健康行政と北毛生協が、協力して健康な村づくりをすすめる第1歩となりました。

支部結成前の1981年頃に無医村の小野上で50～70人の村民の健診を村と一体になり活動したことや、診療所建設を目指した活動など、これまでの活動の歴史が分かりやすくまとめられていました。

現在の私たちは、当時の方々の想いを受け継ぎ、日常生活を元気に明るく、楽しく生活できるような活動を行っています。

班会では認知症、熱中症、転倒予防などを行い、人間ドックや健康チェックなどの事業利用も促しています。

仲間増やしでは、「年間1000台くらいの救急車が北毛病院に搬送されている」と話すと「何時お世話になるか分からないから組合員にしておくれ」と言って加入する方も多くなってきました。

現在、小野上地域の66・8％の世帯が組合員になっています。出資金は一人平均約5200円です。

今後の課題は、機関紙「くらしと医療」の配布者さんと、一緒に支部の運営に参加して下さる方を増やしていくことです。

もっと地域の方々のつながりと健康な生活を過ごせるよう班会活動をして広めていきたいと思います。

小野上支部　現支部長　唐澤　崇子

中澤理事長もお祝いにきました

当日配布された「支部のあゆみ」

我が支部の史跡・名所 ⑩榛東支部

高塚古墳、茅野遺跡、長久保古墳群…現代のわたし達は、古代の人達の歴史の上に生きていることを改めて知らされます。

桃井城跡―清和源氏の一族である足利義胤が地頭として赴任し、桃井義胤と名乗ったことにはじまる桃井氏はその子孫の桃井直常が、足利尊氏に従い、南北朝時代の武将として活躍。山子田の午王頭川と南城寺川に挟まれた台地にあった。桃井城は戦国時代まで続いたとみられる。吉岡町大薮の桃井東城と合わせ箕輪城と白井城の中継地としての役割を負う桃井西城と呼ばれる重要な位置にあったとのことです。

八幡宮（新井地区）―嘉禄2（1226）年、桃井義胤が、鎌倉の若宮八幡宮を勧請したと伝わる。応永34（1427）年の洪水によって流失。明治41（1908）年に再建された本殿は深い杉木立の中にたたずみ、境内続きに湧水池が静かに水をたたく。「八幡ホタルの郷」として夏の一夜を愉しむ場所になっています。

宿稲荷神社（柏木沢地区）―箕輪城主ゆかりの神社として京都伏見から勧請したとされています。天文10（1541）年の創立、榛名神社の合併神社。幕末、日光東照宮の彫刻師達による本殿の彫刻は見ごとです。村指定重要文化財となっていて、是非一見をお勧めします。

三十余ヶ所にもなる、国・県・村指定の重要文化財、史跡、無形民俗文化財、天然記念物等に敬意を表します。この文化を次世代に…。

新井にある八幡宮

山子田にある桃井城跡

広馬場にある宿稲荷神社

北毛保健生協に加入して、健康なくらしを!!

2019年1月

加入

〔榛東〕富澤福二 広馬場
富澤たけ 〃
〔吉岡〕六本木竹夫 北下
〔八木原〕川崎雅絵 八木原
〔豊秋〕石井文江 行幸田
〔市街地〕佐藤武司 元町
高橋絵理沙 下郷
〔金島〕野村勇 金井上ノ町
〔子持〕山崎ひろみ 北牧
須田孝 白井
〔赤城〕須田百合子 深山
〔伊香保〕福島ひさ子 伊香保

増資

〔榛東〕細野長盛 広馬場
齋藤賴子 〃
〔市街地〕齋藤映子 下ノ町
〔金島〕清水重雄 金井南町
清水シツ子 〃
〔小野上〕唐澤崇子 村上
〔赤城〕堤高男 棚下
早水久子 三原田
石田勝子 津久田

掲載訂正　1月号3面の我が支部の史跡・名所紹介の記事で誤りがありました。午王川を牛王川、有馬五石を有馬護石と掲載してしまいました。訂正してお詫び申し上げます。（機関紙編集委員会）

医療講座

感染症流行リポート
～僕がインフルエンザにかからない理由

小児科／救急科　福江　靖

辛い冬が去って春になりました。

この冬はテレビの情報番組が連日騒いでいたようですが、たしかに様々な面でインフルエンザが印象的な冬でした。

予防という面では、「インフルエンザワクチンは感染の予防はできない」という既知の事実がようやくマスメディアでもハッキリ表現されるようになった一方で、「重症化予防」については未だ曖昧な表現が蔓延っています。何かと統計めいた数字を捻り出してワクチンの重症化予防効果がテレビ番組などで叫ばれたりしていましたね。偏向報道は今に始まったことではありませんが、思うにインフルエンザワクチンがもたらす経済効果は馬鹿にならないので「インフルエンザワクチンには何らかの効果がある」という概念は曖昧にでも残しておくのが大人の考え方なんでしょうか。

治療という面では、「10歳代のオセルタミビル（タミフル）解禁」と「新薬ゾフルーザ登場」という2つの話題がありました。「10代少年の自殺行為はオセルタミビルが原因」という確証もない根拠によってオセルタミビル処方が禁止となったのが今から10年程前でしたが、なぜか今になってオセルタミビル処方が解禁となり、おまけに新生児にも処方してよいことになりました。小児の医療現場でオセルタミビルが使えなくて困ったことなど一切無かったんですけどね。

結局この冬のインフルエンザは、ワクチン議論も新薬登場も何処吹く風で、例年にない爆発的な大流行となりました。当院でも外来はパンク寸前となり、例年になく高齢者が重症化し、高齢者の死亡例もありました。

そんなこの冬の大流行を経て私が個人的に強く感じたことを3つ。

①「ワクチン接種は高熱を出さないだけ。むしろ早期診察の邪魔」

②「治癒証明書は科学的根拠のない紙切れ。治癒証明後も5日間はウイルスを出している」

③「麻黄湯はホントに効く。発症初期から飲むと症状は2日も続かずに治る」

さて私はと言えば、実は医者になってから15年来インフルエンザに罹ったことがありません。医療従事者なので世間一般の人よりは手洗いをこまめにしているとは思いますが、特別な予防策をしているわけでもありません。感染しても発症しない「不顕性感染」によって免疫抗体を獲得しているケースが近年確認されているので、恐らく私もそれに該当しているのだろうと思います。では何故発症しないのかと言うと、心当たりが一つ。前述③の麻黄湯です。

私は小児科夜間外来が終わった後に、咽頭痛、悪寒、倦怠感を僅かでも感じると（気のせいでも構いません）、その夜に麻黄湯を1包内服します。そして翌朝にスッキリしない感じならもう1包内服します。それだけです。麻黄湯は風邪の特効薬のような漢方薬で、早期に飲む程効果が上がるので「風邪かな？」と思った時に飲むのは間違いではありません。ただし漢方薬は体に合う／合わないがあるので、全ての人に効果があるとは言えないこともあります。

とりあえず思い当たる「麻黄湯の早期内服」。ファクトチェックは大歓迎です。

この冬多人数のインフルエンザ死亡を出した老人施設でも入所者のワクチン接種は実施済みだったので、マスコミ的には「発症者が出た時点で入居者に予防内服をさせなかった」ことを問題視はしてもワクチン効果については一切議論しない体でしたね。

で、今回の解禁は製薬会社と厚労省の間でなし崩しに決まったんだろうな～と思います。ゾフルーザについては当院では採用されていないのでノーコメントにしときます。

○講師養成講座
「お菓子作り教室」桜餅

日　時：３月14日（木）13：30～
会　場：組合員ホール
参加費：300円
募　集：先着20人
持ち物：エプロン、三角巾、マスク

○第23回　医療生協学校

日　時：３月23日（土）
　　９：30～15：30予定
　　（９：00～受付開始）
内　容：
　１．歴史（木暮洋子）
　２．生協法（吉村多美子）
　３．いのちの章典（足立みどり）
　４．生協を語る（足立康夫）
参加費：500円

・三者協春の学習会
「消費税増税について」

日時：４月13日（土）
　　14：00～15：30
場所：渋川市中央公民館２階講義室

消費税率引き上げは阻止できる

消費税増税について

安倍内閣は2019年10月から消費税を10%に引き上げる閣議決定。同時に、住宅や自動車の購入を促す給付金や減税、キャッシュレス決済にポイント還元など「景気対策」を指示。

増税のために巨額の税金を使うこと自体、天下の愚策。

中小業者は税率引き上げに加え、複数税率・インボイス制度の実施によって、これまで以上の負担増が強いられ、商工会議所、税理士会も複数税率反対を表明。

消費税についてしっかり学習して、増税中止を実現する力にしましょう。

消費税学習会のご案内

■ 2019年4月13日(土)
■ 14時 開会～15時 30分終了予定
■ 渋川中央公民館 2階講義室
■ 講師 行方良平(渋川北群馬民商会長)

主催／三者協(生活協同組合コープぐんま、渋川北群馬民主商工会、北毛保健生活協同組合

●お問合せは　北毛保健生協事務局　☎ 0279-24-2141

北毛保健生協外来医師診療表（2019年１月～）

〔－は休診〕

北毛病院 (24)1234　　北毛診療所 (24)2818

	北毛病院																				北毛診療所	
	内科		小児科			外科		消化器外科		大腸・肛門外科			精神科（予約）		皮膚科	眼科		専門外来（予約）				
	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後
月	橋本（予約） 吉野（予約） 片田（予約） 永井（予約）	木村	福江 永井	—	福江 永井	助川	—	根本	—	—	—	助川（予約） （第2）	鈴木	—	—	—	—	—	—	—	生方	—
火	宇敷（予約） 生方（予約） 須藤 （第1,2,4,5） 中島（第3）	坂本 （第1.3.5） 小澤良 （第2.4）	西田（第1） 和田（第2） 原（第3） 大澤（第4） 藤生（第5）	—	—	助川	—	—	—	大島 （11:30まで）	—	—	八代 鈴木	八代	—	石川	石川 （予約）	糖尿病：下村 糖尿病：吉野聡	糖尿病：小澤 甲状腺：桑原 （第2.3.4） 喘息：古賀 循環器：船田 （第2.4）	—	橋本	甲状腺：桑原 （第1）
水	橋本（予約） 吉野（予約） 須藤 （第1,2,4,5） 中島（第3）	久保 （第1.2.3.5） 医師交代 （第4）	柳屋 福江（予約）	—	福江 新里	小暮	—	—	—	大島 （10:30まで）	—	—	鈴木	鈴木	—	石井	—	糖尿病：生方	—	甲状腺：桑原 （第1） 禁煙：吉野	小林	—
木	宇敷（予約） 橋本（予約） 蒙	蒙 森	五十嵐	—	—	大島 安藤 （第1・3・5）	—	—	—	助川 （第2・4）	—	—	鈴木	—	安田	—	—	循環器：長谷川 喘息：笠原	小児予防接種：原	まき爪：根本 （第2.3.4.5） 整形：面高 （第1） 整形：設楽 （第2.3.4.5） 高血圧：小林 （第1.2）	生方	—
金	吉野（予約） 片田（予約）	永井	柳屋 福江（予約）	—	福江	小暮	小暮	—	—	—	—	—	八代	八代	—	菊地	菊地 （予約）	—	肝胆膵：小暮 けいれん：柄沢 （第1）	—	宇敷	—
土	吉野（予約） （第1.3.5） 宇敷（予約） （第2.4） 木村（予約） （第1.3.5） 桑原（予約） （第2.4） 新里	—	福江	—	—	助川 大島 （10:30まで） （第1）	—	根本 （第2.3.4.5）	—	—	—	—	鈴木 （第 1.2.4.5）	—	—	—	—	整形：小林 （第1） 整形：船戸 （第2） 整形：浅見 （第3.5） 整形：医師交代 （第4） 循環器：船田 （第1.3.5） 糖尿病：橋本貢 （第1.3）	—	—	小林	—

受付時間　午前（AM8：30～12：00）、午後（PM1：00～5：00）、夜間（診療科・専門外来により異なります。）
診療時間　午前(AM9：00～)、午後（PM2：00～）、夜間（診療科・専門外来により異なります。）

（注）
内　　科　午前診療は予約優先となります。急病での来院時には看護師にお声掛けください。
　　水曜日午後はPM4：30までの受付となります。
　　第4水曜日午後はPM3：00診療開始となります。
　　金曜日午後はPM3：00診療開始となります。
小 児 科　夜間外来はPM1：00より順番予約を行います。PM4：30受付開始となります。
　　水曜・金曜日の福江医師は、医師指示による予約診療のみとなります。
精 神 科　予約診療となります。**原則、初診の受付は行いません。**

※定期通院以外の方は、午前は10：30、午後は15：30までの受付となります。
以降受付の場合は、後日再予約や検査となる場合があります。
※眼科手術を再開しました。1泊2日入院での白内障手術が可能です。

外　　科　火曜日午前外来はAM11：30受付終了となります。
皮 膚 科　AM11：30受付終了となります。
眼　　科　午前はAM9：30診療開始、AM11：00受付終了となります。
　　午後は予約診療となります。
専門外来　予約診療となります。
　　診療ご希望の場合は、受付にお問い合わせください。

《“日曜お手軽健診”実施中！〈採血検査です。内容は肝機能・脂質・腎機能・貧血等の検査〉毎週日曜日の午前9時～ 12時。料金1,500円。

みんなの広場

職員募集

医　　師	常勤・パート
看　護　師	夜勤可能な方歓迎
薬　剤　師	常勤・パート
看護助手	パート
ケアマネージャー	パート
介護福祉士	常勤・パート
介護福祉士	常勤2019卒予定者可
ヘルパー	パート
診療放射線技師	常勤2019卒予定者可
作業療法士	常勤2019卒予定者可
理学療法士	常勤2019卒予定者可

ご連絡の上、履歴書をお送りください。

（連絡先）
渋川市有馬237-1
北毛保健生活協同組合
総務部　鈴木まで
TEL 0279-24-1234

わたしの一枚

「雀の餌付け」　有馬支部　見城　壽雄

私が雀に餌付けをやってみたいと思ったのは、姉が仏様の残り物を庭に播いておくと、雀が来ると聞いたのがきっかけです。それでは自分もと思い、とりあえずパン屑や残りゴハンを庭に置いてみたら徐々に集まりだしたので、折角だから炬燵から食べる様子が見れる方が面白いと考え、目線に合う高さの餌台を作りました。

最初の内は、カラスや鳩が来たのでその都度しつこく追い払い今では雀天国となりました。朝、私が体操している間は、近くのフェンスでじっと眺めておりますが、玄関に入るや否や十数羽が餌台に飛び移り騒やかな食事会が始まります。１時間位、水を飲む仕草や啄ばむ様子を眺めていますが、本当にナチュラルで心を癒してくれます。

難点は、フェンスに糞の落し物が残り週に一回は清掃することです。雀の寿命は２～３年と開いており、朝夕２回の餌やりも何かの縁と考え出来るだけ可愛がってやりたいと思っております。

私も配ってます

●配布者さん紹介●

八木原支部　田辺　皓子さん

私が配り始めたきっかけは、近所でたくさん配っている人がいて、その人の負担を減らすために2年ほど前に頼まれたことです。現在では毎月12部配っています。配っていると、近所の人の「ご苦労様」という声もあり、ここまで気持ちよく続けてこれました。これからもできる限り、健康の為に配り続けたいと思います。

活動報告

◀金島支部　虹のバレンタイン行動

◀子持支部　けやき班会

▲古巻協議会　虹のバレンタイン行動

▲市街地支部
虹のバレンタイン行動

▲赤城支部
虹のバレンタイン行動

▲豊秋支部　西浦班会　脳トレ

▲豊秋支部　虹のバレンタイン行動

▲有馬支部　中有馬班会

新春のつどい

市街地支部　2月12日
プレヴェール渋川にて　参加39名

小野上支部　2月14日
小野上地域福祉センターにて　参加27名

伊香保支部　１月25日
ホテル松本楼にて　参加14名

吉岡支部　１月28日
ロバロバにて　参加32名

子持支部　２月19日
子持公民館別館にて　参加24名

赤城支部　２月21日
ヘルシーパル赤城にて　参加17名

半田支部　２月22日
天広にて　参加29名